

教室利用までのながれ

①教室相談・面接

各学校で教室利用相談(保護者⇄在籍校)

(必要に応じて指導教室の見学と相談)

②在籍校が区教育委員会の教育総合支援センター特別支援教育係へ連絡

●4月教室利用開始の場合

→前年度11月に申込受付

●9月利用開始の場合

→5月に申込受付

●1月利用開始の場合

→9月に申込受付

③教室利用相談申込書・資料等の提出

「相談申込書・相談票」の記入提出

「個別指導計画」・「実態把握表」

「個別の心理検査の結果」(WISC等)提出

④教室利用相談会議・利用の決定(年3回)

【4月利用開始】は前年度の1月～2月

【9月利用開始】は6月～7月

【1月利用開始】は10月～11月

⑤利用の判断結果の通知(決定通知)の受理

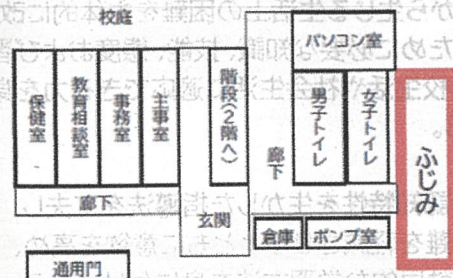
⑥教室利用(訪問指導)開始

ご不明な点・詳細は

品川区立教育総合支援センター
特別支援教育係にご相談ください。

電話 03(5740)8202

教室施設(1階)



交通案内



JR横須賀線 西大井駅 徒歩 10分

都営浅草線 馬込駅 徒歩 6分

東急大井町線 中延駅・荏原町駅 徒歩14分

JR・東急大井町線駅より荏原営業所行

東急バス・二葉四丁目 徒歩3分

令和8年度

特別支援教室 要覧



品川区特別支援教室 拠点校

富士見台中学校

特別支援教室「ふじみ」

〒140-0015

東京都品川区西大井5丁目5番14号

電話 03 (3772) 0900

FAX 03 (3772) 0715

「ふじみ」直通 03 (3772) 0902

利用対象生徒

品川区立中学校・義務教育学校に在籍する生徒のうち、
発達障害など特別な教育的支援を必要とする生徒

学級の概要

〈学級名〉

特別支援教室「ふじみ」

2018年(平成30年)4月開室

〈学級形態〉(平成30年度より)

教室制【在籍校の特別支援教室に通う】

・富士見台中学校特別支援教室「ふじみ」

・荏原第五中学校特別支援教室「さつき教室」

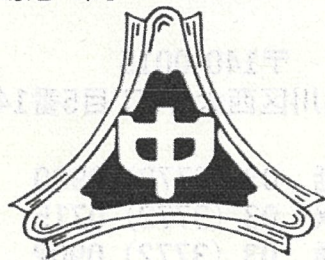
・荏原第六中学校特別支援教室「みどり」

・荏原平塚学園(後期課程)特別支援教室「若竹教室」

・豊葉の杜学園(後期課程)特別支援教室「のぞみ教室」

〈教職員〉

校長	石黒 晋
副校長	篠塚 史也
担任	神谷 智将 野平 直
	竹谷 玲 柴 陽菜
専門員	菊池 玲子



品川区立富士見台中学校

教室の教育目標

1. 障害の特性から生じる生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度および習慣を養い、学校生活や社会生活に適應できる力を身に付けさせる。
2. 一人一人の認知特性を生かした指導法を工夫し、学習上の困難を軽減させるとともに意欲を高め、主体的かつ効果的な学習方法を身に付けさせる。

指導の基本方針

1. 情緒の安定を図り、自己理解を深め、日常生活における場に応じた話し方や態度を具体的に学び、状況の理解や変化への適切な対応を身に付けられるよう、個別または小集団の自立活動を行う。
2. 学習上の困難を克服できるよう、個別の手立てを用いて、各教科の内容を取り扱う自立活動を行う。
3. 担任、保護者、特別支援コーディネーター、スクールカウンセラー、特別支援教室専門員、外部専門機関等との連携を密に、共通理解を図りながら指導にあたる。

指導の重点

1. 個別または小集団の自立活動では、スモールステップでの課題設定やICTの活用等、指導方法を工夫し、生徒一人一人が場に応じた態度や状況を理解する力を身に付けられるようにする。
2. 各教科の内容を取り扱う自立活動では、生徒が集中して取り組めるよう個に応じた環境調整を行う。また、個の能力と認知特性に合わせた指導方法や教材を用い、生徒が理解できるとともに、自分に合った学習方法を習得できるようにする。

家庭との連携・連絡

- 「連絡帳」を用いて、家庭と学校(支援教室の指導内容等)の様子を互いに共有できるよう心がけています。
- 保護者との面談は、7月、10月、3月の3回を予定していますが、必要に応じて随時行います。

その他

- 訪問指導教員が訪問を行う曜日に1日1～2時間程度在籍校の特別支援教室で指導を受けるシステムです。
- 時間割については、特別支援教室拠点校の訪問指導教員が、本人・保護者・在籍校の担任(特別支援コーディネーター)等と相談し、決定します。
- 特別支援教室の指導時間は、在籍学級の出席時数に数えられます。